

令和2年度 第1回

病院経営戦略会議報告

日時 令和2年4月7日（火） 13時00分～14時00分
場所 3階会議室1・2
出席者 堀之内院長 小山副院長 増田副院長
安西看護部長 細沼病院経営部長 越田病院総務課長
池田病院施設管理課係長 浅野病院財務課長 若林医事課長
増田情報管理室長 日向患者支援センター副所長
事務局 坂口病院総務課長補佐

内容

◎越田病院総務課長

【報告事項】

(新型コロナウイルス感染症の院内感染防止に向けた健康管理の徹底について)

- ・ 家族関係者等で濃厚接触者が出た場合、少しでも体調が悪い場合などは、速やかに職場の上席、感染管理室、病院総務課職員係へ報告すること。
- ・ 看護学生等の実習受け入れについては停止する方向で調整中。ボランティアについても縮小しているが、4月8日（水）よりキッズルームを閉鎖する。
- ・ 事務職については、時間的・空間的に職員同士の接触機会の低減を図り、職場内のクラスター発生等を避けるため、可能な範囲で週休日の割振り変更を行っている。

→ 健康管理をしっかり行い、必要に応じPCR検査を実施すること。(院長)

→ 院内感染を防止する観点では、PCR検査を実施することは重要。外来患者については、入院が必要となるような患者に限って実施する方針を継続。

(小山副院長)

Q. 濃厚接触者との報告を受けた上席が報告を行う先について、情報の一元管理の観点からはっきりしてほしい。(増田副院長)

A. 届出報告書を作成し、感染管理室へ報告する。(病院総務課へは感染管理室より連絡)(病院総務課長)

(4月1日付 職員数について)

- ・ 4月1日時点で職員数は994名。中期経営計画における人員数より全体で44名不足。医師、看護師等の職種に不足数が生じているが、医師については不足数を上回る専修医の配置により対応している。また、看護師については8月1日付の採

用を、その他の職種については今後の動向を見ながら採用を検討していく。

(令和2年度看護職員採用選考について)

- ・令和2年8月1日付採用10名、令和3年4月1日付採用30名を予定。6月に令和2年8月1日付採用者の試験を実施予定していたが、新型コロナウイルス感染症の情勢を踏まえ、今後、試験実施について看護部と協議していく。

(院内会議・委員会名簿の更新について)

- ・早期に議長・委員長を変更する必要があるものについては対応していただいているが、それ以外については委員等の変更を調整のうえ、4月24日(金)までに病院総務課へ報告をお願いします。(5月から新メンバーで活動を開始)

◎病院施設管理課(池田係長)

【協議事項】

(計画停電を伴う電気設備法定点検の延期について)

- ・新型コロナウイルス感染症対応状況を踏まえ、5月に予定していた計画停電について延期を検討中。患者の受入状況、冷暖房設備停止の影響を踏まえ時期を検討していきたい。

Q. 新病院開院時に起きた電圧が上下する現象は解決したか。(院長)

A. 運用で対処している。(根本解決はしていない。)(病院施設管理課)

Q. 延期した場合、いつ行うのか。(増田副院長)

A. 空調設備の使用状況等を踏まえ、秋を想定。(病院施設管理課)

【報告事項】

(修繕及び点検の実施について)

- ・1階エントランスホールの人工石の床修繕を4月17日(金)、18日(土)、25日(土)、26日(日)、で実施。
- ・立体駐車場エレベータ監視盤点検を4月23日(木)、24日(金)でエレベータを各日1基止めて実施。

Q. 朝出勤すると立体駐車場に結構車が止まっているが、誰が止めているのか。(増田副院長)

A. 車で来て、急遽入院となった患者の車、当直の招へい医師等と思われる。(病院施設管理課)

◎浅野財務課長

【報告事項】

(さいたま市立病院中期経営計画進行管理支援業務について)

- ・中期経営計画の目標達成に向けた支援・収支計画の進行管理に向けた支援を目的

として実施。

- ・スケジュールは、4月6日（月）告示、4月17日（金）入札参加資格申請申込締切、27日（月）入札、5月から業務開始予定。

◎若林医事課長

【報告事項】

（施設基準について）

- ・ダビンチの胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術は92,000点、腎の悪性腫瘍手術は70,730点を、3月下旬に届出、4月より取れることとなった。
- ・検体検査判断料の検体検査管理加算4を届出、出来高で500点、機能評価係数Iに入っており、昨年度実績だと月300万程度の増収となる。

（外来患者の感染予防について）

- ・新型コロナウイルス感染症対策として待合室の待合者間隔確保のため、アッセンブリーホールの椅子を2階と3階にそれぞれ20脚配置して対応。また、患者支援センター前にも5脚配置した。

Q. 入退院支援の前も並んでしまうので、番号札配布などで対応できないか。

（院長）

A. 難しい。（医事課長）

◎増田情報管理室長

【報告事項】

（医療総合情報システム改修（診療報酬改定対応、呼吸器内科追加））

- ・3月より診療報酬改定、呼吸器内科追加に対応するためシステム改修を実施。電子カルテの入力部分については改修済み、医事課のレセプト作成部分については、4月分のレセプト請求（5月10日締切）なので、その作業に間に合うように改修を進めている。

◎日向患者支援センター副所長

【報告事項】

（病床利用状況調について（7Aに開放型病床再掲を追加））

- ・3月の入退院支援管理委員会において、窪地先生より病床利用状況調べにおいて開放型病床の利用状況が分かるように工夫するよう意見があり、把握できるようにした。

◎小山副院長

- ・新型コロナウイルス感染症患者の大幅な増加を実感している。PCR 検査ができる機関が帰国者接触者外来のある病院に限られているが、PCR 検査ができないので肺炎患者は受け入れられないとの理由で、当院へ患者が搬送されてくる件数が非常に多い。入院施設のある一定規模以上の病院は PCR 検査できるようしてもらわないと厳しい状況である。
- 保健所として患者に救急車を呼ぶよう言うことはない、当院の現況は把握しており、当院が大変になるような誘導はしていない、入院施設のある病院に対しては、新しい患者が来たら受け入れるよう指導しているとのこと。(病院経営部長)
- Q. 市長も PCR 検査数が少ないことを気にしている。ほかの病院でできないのか(院長)
- A. 保健所が募った時に、新型コロナウイルス感染症患者を受け入れたくないため手を上げなかった病院はできない。PCR 検査は医師の判断でできると厚労省も言っているがそうになっていない。保健所が PCR 検査できる施設を決めること自体がおかしい。もっと、簡易的に当院以外の場所で、例えばドライブスルー的な検査を行えるようにしてほしい。そうしないと、医療崩壊が起きてしまう。(小山副院長)
- 看護部も救急外来への電話問い合わせも増え、コロナ関連の対応が増加しており、G.W 中を含めた今後の対応を考えると厳しい。(安西看護部長)
- その旨は、市長へは伝えてきた。(院長)

◎堀之内院長

- ・市長と面談した。
- ・保健所は、現状で PCR 検査は手一杯である、また、周りの病院も外注検査で少しずつ陽性反応が出ていると言っていた。PCR 検査ができる施設を増やすよう保健所と相談していかないといけないと思う。
- ・結核入院者を他病院に移す。患者支援センターには、移送にあたっての手續きをお願いしたい。
- ・結核の病床を新型コロナウイルス感染症用病床に変える。医師リソースが不足しているので、医師確保をお願いしてきたが、市としては難しそう。そのため、私見だが、口腔外科は手術見送り、外来見送り、外科は不要不急の手術は見送り、整形外科も同様。それにより生じた余剰分を 8B 病棟の対応に回ってもらうようお願いし、内科の先生に司令塔になってもらい患者を診るというスキームができないか、今日の診療部長会議でお願いしようと考えている。それ以上の対応、例えば、さくらそう病棟を閉鎖し、そこに新型コロナウイルス感染症患者を入れる

となった場合、病院全体で手術を半分にする等の対応をしていかなければ対処できないだろうと考えている。先生方には大変な負担になるので、診療部長会議で相談していきたいと思う。

- PPE 装着のレクは終わっており、手術量の減少幅等により、8Bに回せる看護師の人数を算出する。ただ、呼吸管理は救急病棟で行ったほうが良い。(安西看護部長)
- 8Bの看護師の疲労も心配であり、ローテーション組めればよいと考えており、後程相談したい。また、8Bはフルで使いたい。多床室は家族で来る人で活用したい。(院長)
- 病床全部は、使えない可能性がある。(小山副院長)

◎増田副院長

- ・県との調整も必要だと思うが、東京都のように軽症者・無症状者にホテルを借りて対応することについては検討すべきではないか。今後、PCR検査数が増えれば、そういった対応をしなければ、早期に医療崩壊がおきてしまう。
- 現時点では、県のスピードが遅く、市が対策を先行実施することにより、費用が市負担となってしまうことを事務方は危惧している。そのため、市長から、古い病棟、仮設棟を使えないかとの打診あった。計画を一応提示することとなったが、費用が多額であり、改修期間もかかる等課題が多く、ホテルを借りるほうが良いとの感触を市長等は持ったと思うが、受け皿としての病院の病床数を増やすことを行う方向で検討することとなると思う。また、市長には古い病棟、仮設棟の改修を行ったとしても、当院の医療リソースは活用することはできないと伝えている。なお、本日、市長の記者会見が実施されるが、具体的な内容ではなく、県と調整しながら、対処していきたいといった趣旨の発言となると思われる。(院長)